

平成21年度 学部入学式 — 告辞 —

新入生の皆さんへ

琉球大学に入学された皆さん、御両親を始め御家族の方々へ心からのお祝いを申し上げます。

皆さんは希望と期待を持って入学されたことと思います。琉球大学は7つの学部を有する県内で唯一の総合大学です。法文学部、教育学部、観光産業科学部などの文系の学部の他に、県内の他の大学と違い、理学部、工学部、農学部、及び医学部といった四つの理系の学部、さらに法科大学院もあります。各学部には大学院がありますが、法文学部と理系の学部全てが大学院博士課程を持っています。現在の大学教育は、学部教育だけではなく、大学院までとすることが世界の国々で考えられています。その理由は学問の進歩やめざましく変化する社会の状況、そして社会の発展に大学の学部教育だけでは対応できないからです。世界がグローバル化し、企業も国際的になっています。学問も経済や環境の問題にも国境がなくなり、広い視野で考えることが必要です。したがって、日本の大学の卒業生も外国の大学の卒業生と一緒に仕事をすることが多くなり、国際レベルの学力が求められています。

さて、皆さんが入学した琉球大学について少し離しますと、日本の他の国立大学とは異なる設立の経緯と歴史、さらに理念を持っています。1950年、米国のland-grant universityの1つ、ミシガン州立大学の指導を受け設立されました。琉球大学は「地域性」と「国際性」を特色として掲げていますが、地域性にはland-grant universityの研究成果を地域に還元するという理念に基づき、地域に貢献することや地域の特色ある自然や文化、そして歴史などの研究教育が含まれています。かつて沖縄は独立した王国として東南アジア、太平洋域、中国、さらに日本を結ぶ経路の中心に位置し、国際的に活躍し、独自の文化や思想を発展させてきました。したがって地域性は、国際性と密接に関わっています。琉球大学では、沖縄を中心としたアジア太平洋域の歴史、文化、地理的特性を活かした教育研究を行いますので、国際性と地域性は密接に結びついているわけです。ここで琉球列島の成立を考えますと、大陸と陸続きになる、または分断されるという長い時間経過を経て、サンゴ礁や島嶼環境が形成され、日本で唯一の特色ある自然環境を創り出し、世界的に重要かつ魅力的な生物多様性の研究拠点になっています。琉球大学で行われる生物多様性の研究は国際的に評価され、環境問題の解決にも貢献することが期待されています。そのような研究を行う、熱帯生物圏研究センターも大学に設置されています。もう一つの魅力ある研究所としては、沖縄を中心とし

海で結ばれた中国や東南アジア、南北アメリカなど広い地域の研究拠点として大学には国際沖縄研究所があります。教育学部の教育GPなどの先進的な取り組みや、工学部、農学部、さらに医学部の魅力的な研究教育が皆さんを待っています。

現在の社会は、グローバル化が進み、経済の基に大変な不況や格差、さらに自然破壊も進んでいます。皆さんは大学でいろいろな分野の学問を学びますが、最も大切なことは、考える力、考え方です。自分の目で見ると、考える、そして本土の大学とは違うやわらかで柔軟な私どもの大学の学知と一緒に学び、深めて下さい。皆さんの入学を心から歓迎します。

平成21年 4月 6日
琉球大学長
岩政 輝男